

全国税務署巡り

広報委員会 鈴木 重之

◆千葉県香取市北1丁目・佐原税務署



▲佐原税務署

JR成田線・佐原駅の北側、歩いて7分程度の所に佐原税務署があります。

この佐原税務署は明治29年(1896年)に設置されました。

この年には樋口一葉が亡くなっています。

道を挟んだ反対側に香取警察署があるのですが、設置されたのは明治9年(1876年)で、この年に野口英世が生まれています。

更に、道を挟んだ斜め前には佐原郵便局があり明治5年に設置されました。

明治維新後いち早く郵便局が設置されたのですね。

この年の12月2日(西暦1872年12月31日)に、太陰太陽暦(天保暦)が廃止され、翌日からグレオリオ暦に移行して明治6年(1873年)1月1日としたので、明治5年は12月3日から12月30日の28日しかありませんでした。

この暦の変更はかなりの混乱を招いたのではないのでしょうか?年賀状はどうしたのだろう?

更に、佐原税務署の真後ろに「ハローワーク佐原」(旧・職安)があり、こちらは昭和13年に設置されています。

この年は日中戦争中ですが、今の福岡ソフトバンクホークス(当時は「南海軍」)が設立された年でもあります。

駅の北側は閑散としているのですが、明治早々から役所が建ち並ぶ場所だったようです。



▲JR佐原駅

佐原駅は洒落たデザインの駅舎です。

平成18年(2006)に町村合併で、佐原市が香取市になったそうですが、税務署名も駅名も「佐原」のままなので、つい、ここは「佐原市」としてしまいがちです。

駅の改札を出て、すぐ目の前に伊能忠敬の銅像があります。

佐原といえば、「伊能忠敬」というくらいの有名人ですが、この駅前他にも銅像がもう一つ立っています。

駅から歩いて15分程度のところには「伊能忠敬記念館」があります。



▲伊能忠敬記念館

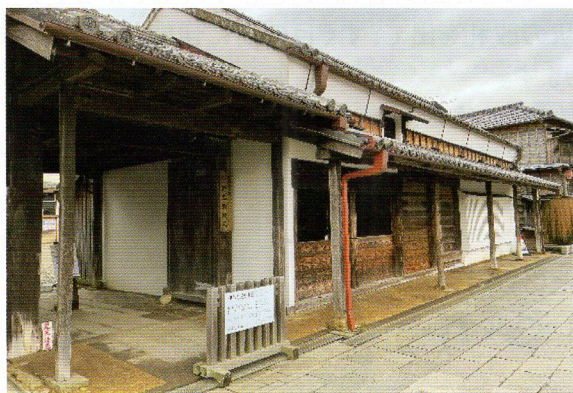
ここは楫取魚彦(かとり・なひこ)という国学者・画家の旧居跡だったとは知りませんでした。楫取は江戸中期の人で賀茂真淵(かものまぶち)に師事して古学を学んだ方です。

また、伊能忠敬とは遠縁となります。

記念館の内部は撮影禁止なので測量器具などをご紹介できず残念ですが、川を挟んだ反対側にある「伊能忠敬旧居」は見学・撮影自由でした。



この川(小野川)の右岸に記念館が、左岸に旧居があります。



▲伊能忠敬旧居と内部

ちなみに、昼食は「うな重」を食べましたが、たまたま最初に見つけたお店が鰻屋さんだったので入っただけなのですが、その後、歩き回ったところ街の中に結構、鰻屋さんがあるのです。

もしかしたら、佐原は鰻が名物なのでしょうか？



伊能忠敬は延享2年(1745年)に現在の九十九里町に生まれ、のちに佐原の伊能家の婿養子となります。隠居後の寛政12年(1800年)、55歳の時に第1次測量に出かけます。伊能忠敬はご存じのように実際に日本中を歩いて測量し日本地図を作った方として有名です。

日本地図を作った人となると、もう一人、我が茨城県の県北の偉人、高萩市の長久保赤水(ながくぼ・せきすい)がおります。

長久保赤水は享保2年(1717年)に高萩市赤浜で生まれ、宝暦元年(1751年)、35歳の頃から日本地図を描き始めました。

地図を描き始めたという点から言うと、長久保赤水のほうが、49年も早く着手しているわけで、完成した時期を比較しても42年早く日本地図を完成させています。

長久保赤水は享和元年(1801年)に85歳で亡くなりましたが、その10日後に伊能忠敬の測量隊が高萩市の赤浜を通過したといえます。

もし、ここで対面がかなっていたら面白かっただろうなあと思います。

伊能忠敬記念館所蔵の関係資料2345点が、平成22年6月に国宝に指定されました。

我が長久保赤水も頑張らねばと思いませんか？

長久保赤水と顕彰会については以前にもこの会報で取り上げましたが、再度、長久保赤水の顕彰へのご協力をお願いいたします。(顕彰会の会員である私の個人的なお願いですが…)



▲高萩市・高萩駅前の長久保赤水像